

報告

平成 24 年度 第 2 回 関東支部会

～ 様々な天文普及活動 ～

関東支部世話人 坂江隆志

1. はじめに

関東支部では天文教育普及に関する情報交換を目的とした支部会を開催しました。

日 程：2013 年 6 月 2 日（日）

会 場：東京都立府中工業高等学校
視聴覚室

テーマ：様々な天文普及活動

主 催：天文教育普及研究会関東支部

時 間：13：00～17：00

星の数ほどあるというお話に、

難解でとっつきにくい印象がずいぶん変わりました。（図 1）

【一般発表】

・都立総合工科高校での流星の電波観測

藤由 嘉昭（都立府中工業高校）

・流星の電波観測事始め

府中工業高校の生徒さん達

・大学院生活で行っている宇宙をテーマとした教育・普及活動の紹介

鈴木 裕行（筑波大学大学院）

・ひのでといっしょに太陽を観測しよう 2013

矢治 健太郎（国立天文台太陽観測所）

・教育支援プロジェクトの紹介

～天文部応援中～

百目木 幸枝（リバネス教育開発事業部）

・今年は東日本天文館が開館して 75 年

小川 誠治（渋谷星の会）

・NASA 月面大気探査機 LADEE と

LIME プロジェクト

黒柳 貴子（日本大学大学院）

・LIME プロジェクトの PR について

友田 哲（日本天文愛好者連絡会）

2. プログラム

【特別講演】

・「最近のブラックホールのお話」

嶺重 慎（京都大学）

本会会長の嶺重さんから特別講演ということで、ブラックホール研究の最新事情をわかりやすくお話していただきました。氏のブラックホールとの出会いから、ブラックホールの基本事項、日本はブラックホール研究の中心であり、「ノーベル賞」の言葉がいくつも……。ブラックホールはそこらじゅうに



図 1 嶺重会長の講演

一般発表では、それぞれの発表者の皆さんが日頃取り組んでおられる活動について発表していただきました。会場校である府中工業高校の生徒さんによる流星電波観測の実践報告もあり、休憩時間も十分取れないほど充実したものとなりました。質疑の時間が十分に取れなく、あとは懇親会で・・・ということ多々。(図2)



図2 講演中

【見学】

最後に電波観測の機材を見せていただきました。屋上に設置したダイポールアンテナを2階の研究室で受信しています。ダイポールはノイズが多いので八木アンテナへの変更も検討中とのことでした。(図3)



図3 流星電波の観測装置

3. 終わりに

今回の参加者：38名

発表数：9件

大所帯の関東支部としては、少し寂しい数でしたが、来年度の年會を担当することになるという話もあり、改めてしっかりやっていきたいと思います。と決意を新たにしてお終りとなりました。

閉會後には、有志による懇親會も行われ、親睦を一層深めることができました。

会場だけでなく、懇親會の席まで用意していただきました藤由さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

坂江隆志